

UnifiedGate Twine

GUI設定マニュアル

株式会社マイクロリサーチ

Copyright(c) 2019 Micro Research Ltd. , All rights reserved.

目次

1. 各部の説明.....	1
2. 設定機器との接続.....	2
3. 設定を行うパソコンのTCP/IP設定.....	3
4. 設定画面へのログイン.....	4
5. メニュー.....	5
6. 状態表示.....	7
7. 初期設定の流れ.....	9
8. ネットワーク設定.....	10
8-1.LANポート.....	10
8-1-1.LANポートにIPアドレスを設定する.....	10
8-1-2.LANポートを未使用にする.....	11
8-2.WANポート.....	12
8-2-1.PPPoE接続を行う(IPv4).....	13
8-2-2.DHCP接続を行う(IPv4).....	13
8-2-3.IPv4アドレスを指定する(IPv4).....	14
8-2-4.RA(Router Advertisement)で接続する(IPv6).....	15
8-2-5.IPv6アドレスを指定する(IPv6).....	15
8-3.名前解決設定.....	16
9. 接続設定.....	17
9-1.DDNSサーバー機能/DDNSクライアント機能の設定.....	17
9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバーサル).....	18
10. 接続先設定.....	19
11. 再起動.....	21
12. アカウント設定(ログインパスワードの変更).....	22
13. 管理.....	23
13-1.全設定表示.....	23
13-2.ステータス表示.....	24
13-3.ログ表示.....	25
13-3-1.ログ情報の表示方法.....	25
13-3-2.ログ情報の表示例.....	26
13-4.ファームウェア更新.....	27
14. FAQ.....	28

1. 各部の説明

本体各部の説明をします。

●前面(モニタランプ)

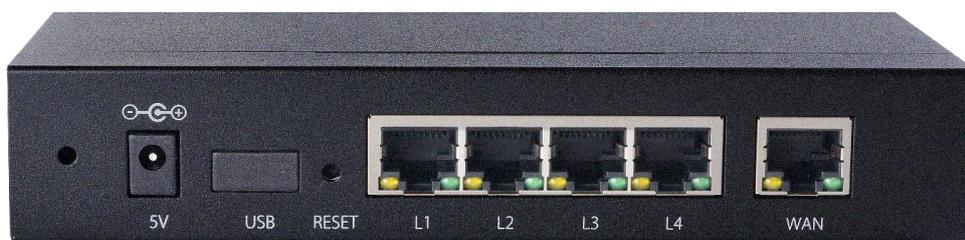


POWER : UnifiedGateの電源がONのときに点灯します。

《STATUSランプ》

- 1 : UnifiedGateの起動が完了すると点灯します。
- 2 : WAN側IPアドレスの取得が完了すると点灯します。
(IPアドレス固定設定時は設定完了後、常時点灯状態になります。)
- 3 : 登録した1拠点以上の対置側UnifiedGateと接続状態になると点灯します。
- 4 : 登録した全ての対置側UnifiedGateと接続状態になると点灯します。

●背面(コネクタ)



5V : 電源アダプター用コネクタです。付属の電源アダプターを接続します。

USB : 使用しません。

RESET : UnifiedGateの設定内容を工場出荷値に戻すためのボタンです。

電源を落とした(電源アダプターを抜いた)状態で、細い棒等を使ってRESETボタンを押しながら、電源を入れて(電源アダプターを接続して)下さい。

電源投入後、RESETボタンは前面のステータス「2」が点滅するまで押し続けて下さい。
ステータス「2」が点滅したらRESETボタンを離して下さい。

L1~L4 : LAN側ポートです。

WAN : WAN側ポートです。

《LAN/WANポートのLEDについて》

グリーン: 1000Mbpsリンク時の各ポートの状態を表します。

点灯=1000Mbpsでリンク確立中

点滅=データ通信中

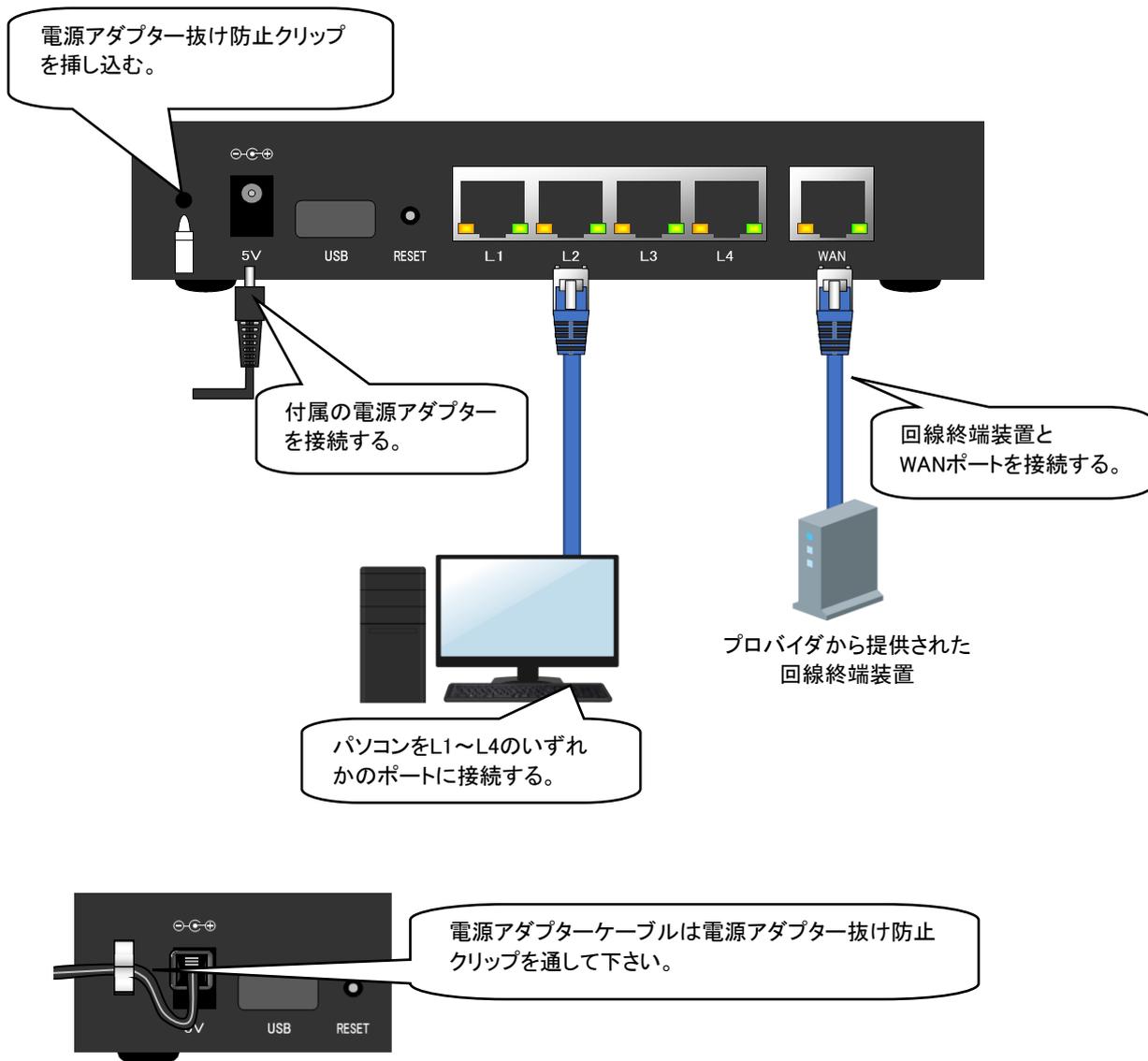
オレンジ: 10/100Mbpsリンク時の各ポートの状態を表します。

点灯=10Mbpsもしくは100Mbpsでリンク確立中

点滅=データ通信中

2. 設定機器との接続

パソコンとUnifiedGateの”L1～L4”のいずれかをLANケーブルで接続して下さい。
ルーターやONU、ADSLモデム等、回線終端装置と”WANポート”をLANケーブルで接続して下さい。



3. 設定を行うパソコンのTCP/IP設定

設定を行うパソコンのTCP/IP設定はUnifiedGateのIPアドレスに合わせて固定する必要があります。
UnifiedGateが工場出荷設定(LANポートのアドレスが192.168.0.1)の場合は、以下のように設定して下さい。

- ◆IPアドレス: 192.168.0.2～254(192.168.0.1以外のIPアドレス)
- ◆サブネットマスク: 255.255.255.0
- ◆デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1

各種OSのTCP/IP設定方法については、OS付属のマニュアル等を参照して下さい。

4. 設定画面へのログイン

以下の手順で設定画面へログインして下さい。

- ①WWWブラウザのアドレス欄にUnifiedGateのIPアドレス(工場出荷値は**192.168.0.1**)を入力して下さい。
以下の「ログイン画面」が表示されます。



- ②「パスワード」欄に認証パスワード(工場出荷値は**passwd**)を入力して下さい。
- ③[ログイン]ボタンをクリックすると、認証が行われます。
認証に成功すると「状態表示」画面が表示されます。



システム情報	
ファームウェアバージョン	Rev.7.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
起動時間	00:01:37.72
ホスト名	UnifiedGate
LAN情報	
IPアドレス	192.168.0.1/24
デフォルトゲートウェイ	
WAN情報(IPv4)	
接続モード	DHCP
IPアドレス	0.0.0.0/0
デフォルトゲートウェイ	
WAN情報(IPv6)	
接続モード	未使用
接続先情報	
	なし

認証に失敗すると、「**パスワードが違います。**」と表示されます。
正しいパスワードを入力して[ログイン]ボタンをクリックして下さい。

注意

GUI設定画面にログインする前に、別のユーザーがGUI設定、もしくはCLI設定でログインしていた場合、前にログインしていたユーザーは強制的にログアウト処理されます。

5. メニュー

「メニュー」について説明します。



[メニュー]の文字をクリックするとメニューが隠れます。
もう一度クリックすると再表示されます。

The screenshot shows the UnifiedGate web interface. On the left is a green sidebar menu with the following items: [メニュー], 状態表示, 設定, ネットワーク設定, 機能設定, 接続先設定, アカウント設定, 管理, 全設定表示, ステータス表示, ログ表示, ファームウェア更新, 再起動, ログアウト. The main content area shows the '状態表示' (Status) page. It includes a 'システム情報' (System Information) table with the following data:

システム情報	
ファームウェアバージョン	Rev.7.xx [UnifiedGate]
起動時間	00:01:37.72
ホスト名	UnifiedGate

Below this is a 'LAN情報' (LAN Information) table:

LAN情報	
IPアドレス	192.168.0.1/24
デフォルトゲートウェイ	

Finally, there is a 'WAN情報(IPv4)' (WAN Information (IPv4)) table:

WAN情報(IPv4)	
接続モード	DHCP
IPアドレス	0.0.0.0/0
デフォルトゲートウェイ	

状態表示

UnifiedGateの状態を表示します。
「6.状態表示」(7ページ)を参照して下さい。

ネットワーク設定

LANポート/WANポートの設定、ホスト名の設定を行います。
「8.ネットワーク設定」(10ページ)を参照して下さい。

接続設定

DDNS機能の設定、IPsecの設定を行います。
「9.接続設定」(17ページ)を参照して下さい。

接続先設定

接続先の設定を行います。
「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

アカウント設定

設定画面(CLI設定も含む)へのログインパスワードを変更します。
「12.アカウント設定(ログインパスワードの変更)」(22ページ)を参照して下さい。

全設定表示

全ての設定内容を表示します。
「13-1.全設定表示」(23ページ)を参照して下さい。

ステータス表示

動作状況を表示します。
「13-2.ステータス表示」(24ページ)を参照して下さい。

ログ表示

ログ情報を表示します。
「13-3.ログ表示」(25ページ)を参照して下さい。

ファームウェア更新

ファームウェアを更新します。
「13-4.ファームウェア更新」(27ページ)を参照して下さい。

再起動

再起動(リブート)を行います。
「11.再起動」(21ページ)を参照して下さい。

ログアウト

設定画面からログアウトします。
ログアウトが完了すると、ログイン画面に戻ります。

6. 状態表示

「状態表示」画面について説明します。

状態表示			
システム情報			
ファームウェアバージョン	Rev.7.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]		
起動時間	00:01:25.64		
ホスト名	UnifiedGate		
LAN情報			
IPアドレス	192.168.0.1/24		
デフォルトゲートウェイ			
WAN情報(IPv4)			
接続モード	DHCP		
IPアドレス	172.16.8.10/21		
デフォルトゲートウェイ	172.16.8.254		
WAN情報(IPv6)			
接続モード	未使用		
接続先情報			
172.16.8.100	<input type="checkbox"/>	EtherIP	未接続
UnifiedGate-A		EtherIP	接続(***.***.***.111)
UnifiedGate-B		EtherIP	接続(***.***.***.222)

■システム情報

●ファームウェアバージョン

ファームウェアバージョンを表示します。

●起動時間・日時

起動してからの経過時間を表示します。

NTPクライアント機能により時刻取得に成功している場合、表示が「日時」に変わります。

NTPクライアント機能の設定は、CLI設定で行ってください。

●ホスト名

自ホスト名が表示されます。

■LAN情報

●IPアドレス

現在のLANポートのIPアドレス/サブネットが表示されます。

●デフォルトゲートウェイ

LANポートに設定したデフォルトゲートウェイアドレスが表示されます。

通常は空欄表示(未設定)です。

デフォルトゲートウェイは、CLIで設定可能です。

■ WAN情報 (IPv4)

● 接続モード

現在の接続モードが表示されます。

「未使用」、「DHCP」、「PPPoE」、「IPアドレス指定」のいずれかが表示されます。

● IPアドレス

WANポートのIPアドレス/サブネットが表示されます。

● デフォルトゲートウェイ

WANポートのデフォルトゲートウェイアドレスが表示されます。

■ WAN情報 (IPv6)

● 接続モード

現在の接続モードが表示されます。

「未使用」、「RA」、「IPアドレス指定」のいずれかが表示されます。

● IPアドレス

WANポートのIPアドレスが表示されます。

● デフォルトゲートウェイ

WANポートのデフォルトゲートウェイアドレスが表示されます。

■ 接続先情報

接続先設定に登録した接続先拠点との接続情報が表示されます。

接続先IPアドレス(ホスト名)、トンネルモード、接続状態、ホスト名の場合はIPアドレスが表示されます。

7. 初期設定の流れ

UnifiedGateの初期設定については、以下の順番で行って下さい。

「8.ネットワーク設定」(10ページ)を行う。



「9.接続設定」(17ページ)を行う。



「10.接続先設定」(19ページ)を行う。



「11.再起動」(21ページ)を行う。

8. ネットワーク設定

ネットワーク設定について説明します。

メニューから「ネットワーク設定」をクリックして下さい。

「ネットワーク設定」画面が開きます。



8-1.LANポート

LANポートの設定について説明します。

- LANポートにIPアドレスを設定する場合

「8-1-1.LANポートにIPアドレスを設定する」(次項)を参照して下さい。

- LANポートにIPアドレスを設定しない場合

「8-1-2.LANポートを未使用にする」(次ページ)を参照して下さい。



LANポートにIPv6アドレスを設定する場合は、CLI設定で行って下さい。
設定方法については、「CLI設定マニュアル」を参照して下さい。

8-1-1.LANポートにIPアドレスを設定する

①「IPアドレス指定」を選択して下さい。

②「IPアドレス」欄にIPアドレスとサブネットマスクビット数を入力して下さい。

工場出荷値は「192.168.0.1/24」です。

③他の拠点からUnifiedGateのLANポートに対してのアクセスを禁止する場合、

「他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す」にチェックを入れて下さい。

以上でLANポートの設定は完了です。

「8-2.WANポート」(12ページ)へ進んで下さい。

8-1-2.LANポートを未使用にする

	<p>本設定を行うと、LANポートから設定ができなくなります。 その場合、WANポートから設定を行って下さい。</p>
	<p>工場出荷時、設定画面へのアクセスはLANポートからのみ許可する設定になっています。 LANポートを未使用に設定しWANポートから設定を行う場合は、あらかじめCLIコマンド「[ui]」でWANポートからの設定を許可して下さい。 詳しくは「CLI設定マニュアル」を参照して下さい。</p>
注意	<p>WANポートからの設定が許可されていない状態でLANポートを未使用にしてしまった場合、一切の設定変更ができなくなります。 その場合は、「Q.全ての設定を工場出荷値に戻したい」(32ページ)を参照して設定を初期化して下さい。</p>
	<p>WANポートからの設定を許可した状態でも、WANポートのIPアドレスが不明な場合、あるいはWANポートがIPアドレスを取得していない場合は、WANポートからの設定はできませんのでご注意ください。</p>

以下の手順でLANポートを未使用に設定して下さい。

LANポート

未使用

IPアドレス指定 IPアドレス 192.168.0.1 / 24

他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す

①「未使用」を選択して下さい。

以上でLANポートの設定は完了です。

「8-2.WANポート」(次ページ)へ進んで下さい。

8-2.WANポート

WANポート設定について説明します。

WANポート IPv4		
<input type="radio"/> 未使用		
<input type="radio"/> PPPoE	アカウント	<input type="text"/>
	パスワード	<input type="text"/>
	IPアドレス	<input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> DHCP		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>
WANポート IPv6		
<input checked="" type="radio"/> 未使用		
<input type="radio"/> RA		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>

● PPPoE回線で使用する場合 (IPv4)

「8-2-1.PPPoE接続を行う(IPv4)」(次ページ)を参照して下さい。

● DHCPクライアントによりIPアドレスを自動取得する場合 (IPv4)

「8-2-2.DHCP接続を行う(IPv4)」(次ページ)を参照して下さい。

● IPv4アドレスを指定する場合 (IPv4)

「8-2-3.IPv4アドレスを指定する(IPv4)」(14ページ)を参照して下さい。

● RA (Router Advertisement) で接続する場合 (IPv6)

「8-2-4.RA (Router Advertisement) で接続する(IPv6)」(15ページ)を参照して下さい。

● IPv6アドレスを指定する場合 (IPv6)

「8-2-5.IPv6アドレスを指定する(IPv6)」(15ページ)を参照して下さい。



「WANポート IPv4」及び「WANポート IPv6」で「未使用」を選択した場合、WANポートはそれらの通信プロトコルで動作しなくなります。

8-2-1.PPPoE接続を行う(IPv4)

以下の手順でPPPoE接続の設定を行って下さい。

WANポート IPv4		
<input type="radio"/> 未使用		
<input checked="" type="radio"/> PPPoE	アカウント	aaa@bb.cc
	パスワード	12345
	IPアドレス	***.***.***.***
<input type="radio"/> DHCP		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>

- ①「PPPoE」を選択して下さい。
- ②「アカウント」欄にPPPoEアカウントを、「パスワード」欄にPPPoEパスワードを入力して下さい。
- ③固定IPアドレスの割り当てを受けている場合は、「IPアドレス」欄に固定IPアドレスを入力して下さい。
IPアドレスを自動取得する場合は、空欄のままにして下さい。

以上でPPPoE接続設定は完了です。

「8-3.名前解決設定」(16ページ)へ進んで下さい。

8-2-2.DHCP接続を行う(IPv4)

以下の手順でDHCP接続の設定を行って下さい。

WANポート IPv4		
<input type="radio"/> 未使用		
<input type="radio"/> PPPoE	アカウント	<input type="text"/>
	パスワード	<input type="text"/>
	IPアドレス	<input type="text"/>
<input checked="" type="radio"/> DHCP		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/> / <input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>

- ①「DHCP」を選択して下さい。

以上でDHCP接続設定は完了です。

「8-3.名前解決設定」(16ページ)へ進んで下さい。

8-2-3.IPv4アドレスを指定する(IPv4)

以下の手順でIPv4アドレス指定の設定を行って下さい。

WANポート IPv4		
<input type="radio"/> 未使用		
<input type="radio"/> PPPoE	アカウント	<input type="text"/>
	パスワード	<input type="text"/>
	IPアドレス	<input type="text"/>
<input type="radio"/> DHCP		
<input checked="" type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/> / <input type="text" value="24"/>
	ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.200"/>

- ①「IPアドレス指定」を選択して下さい。
- ②「IPアドレス」欄にIPアドレスとサブネットマスクビット数を入力して下さい。
- ③「ゲートウェイ」欄にゲートウェイIPアドレス入力して下さい。

以上でIPv4アドレス指定の設定は完了です。

「8-3.名前解決設定」(16ページ)へ進んで下さい。

8-2-4.RA(Router Advertisement)で接続する(IPv6)

以下の手順でRA接続の設定を行って下さい。

WANポート IPv6		
<input type="radio"/> 未使用		
<input checked="" type="radio"/> RA		
<input type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text"/>
	ゲートウェイ	<input type="text"/>

①「RA」を選択して下さい。

以上でRA接続設定は完了です。

「8-3.名前解決設定」(次ページ)へ進んで下さい。

8-2-5.IPv6アドレスを指定する(IPv6)

以下の手順でIPv6アドレス指定の設定を行って下さい。

WANポート IPv6		
<input type="radio"/> 未使用		
<input type="radio"/> RA		
<input checked="" type="radio"/> IPアドレス指定	IPアドレス	<input type="text" value="2001:abcd:abcd:abcd:abcd:abc:aaaa"/>
	ゲートウェイ	<input type="text" value="2001:abcd:abcd:abcd:abcd:abcd:abc:bbbb"/>

①「IPアドレス指定」を選択して下さい。

②「IPアドレス」欄にIPv6アドレスを入力して下さい。

③「ゲートウェイ」欄にゲートウェイのIPv6アドレス入力して下さい。

注意 IPv6アドレスは「:」(コロン)も含めて入力して下さい。

以上でIPv6アドレス指定の設定は完了です。

「8-3.名前解決設定」(次ページ)へ進んで下さい。

8-3.名前解決設定

以下の手順で名前解決設定を行って下さい。

名前解決 (DDNSクライアント/IPsecID)	
自ホスト名	UnifiedGate
設定保存	

①「自ホスト名」欄にUnifiedGateに設定するホスト名をして入力下さい。



自ホスト名で使用可能な文字列は、半角英数字、「-」(ハイフン)、「.(ドット)のみです。
これら以外の文字列は使用できません。

②[設定保存]ボタンをクリックして下さい。

以上でネットワーク設定は完了です。

「9.接続設定」(次ページ)へ進んで下さい。

9. 接続設定

機能設定について説明します。

メニューから「機能設定」をクリックして下さい。

「機能設定」画面が開きます。

UnifiedGate Copyright(c) 2019 Micro Research

[メニュー]
状態表示
設定
ネットワーク設定
機能設定
接続先設定
アカウント設定
管理
全設定表示

機能設定

DDNSサーバー機能
 DDNSサーバー機能を有効にする

DDNSクライアント機能
 DDNSサーバーに接続しない
 DDNSサーバーに接続する サーバーIPアドレス

9-1.DDNSサーバー機能/DDNSクライアント機能の設定

DDNSサーバー機能
 DDNSサーバー機能を有効にする

DDNSクライアント機能
 DDNSサーバーに接続しない
 DDNSサーバーに接続する サーバーIPアドレス

●**DDNSサーバーとして動作させる場合**

「DDNSサーバー機能を有効にする」にチェックを入れ、「DDNSサーバーに接続しない」を選択して下さい。

●**DDNSクライアント機能を使用する場合**

「DDNSサーバー機能を有効にする」のチェックを外し、「DDNSサーバーに接続する」を選択して下さい。

「サーバーIPアドレス」にDDNSサーバーのIPアドレスを入力して下さい。

●**DDNSクライアント機能を使用しない場合**

「DDNSサーバー機能を有効にする」のチェックを外し、「DDNSサーバーに接続しない」を選択して下さい。

以上でDDNSサーバー機能/DDNSクライアント機能の設定は完了です。

「9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバースル)」(次ページ)へ進んで下さい。

9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバース)

トンネルモードをIPsecで動作させる場合の、暗号種類と事前共有鍵を設定して下さい。



トンネルモードをEtherIPで動作させる場合は、本設定は不要です。
[設定保存]ボタンをクリックして「10.接続先設定」(次ページ)へ進んで下さい。

IPsecトンネル機能 (NATトラバース)	
暗号種類	<input checked="" type="radio"/> IPsec (AES/SHA-1) <input type="radio"/> UDP (暗号化無効)
事前共有鍵	<input type="text" value="passphrase"/>
<input type="button" value="設定保存"/>	

●IPsec(AES/SHA-1)

鍵交換通信の暗号にAES128を、ハッシュ関数にSHA-1を使用します

●UDP(暗号化無効)

鍵交換通信の暗号化を無効にし、ハッシュ関数を使用しません。



上記以外の暗号種類を設定する場合は、CLI設定で行って下さい。
詳しくは「CLI設定マニュアル」(別紙)を参照して下さい。

●事前共有鍵

事前共有鍵を入力して下さい。

事前共有鍵は必ず対置側UnifiedGateと一致するように設定して下さい。

設定が完了しましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。

「10.接続先設定」(次ページ)へ進んで下さい。

10. 接続先設定

接続先設定について説明します。

メニューから「接続先設定」をクリックして下さい。

「接続先設定」画面が開きます。

UnifiedGate

[メニュー]

状態表示

設定

ネットワーク設定

機能設定

接続先設定

アカウント設定

管理

接続先設定

EtherIP(add peer)

IPsecセンター拠点に接続(add initiate)

IPsecクライアント拠点に接続(add respond)

接続先IPアド

設定保存

以下の手順で接続先設定を行って下さい。

注意 接続先設定は必ず対置側UnifiedGateと合致するように設定して下さい。

接続先設定

<input checked="" type="radio"/> EtherIP(add peer)	接続先IPアドレスもしくはホスト名	追加
<input type="radio"/> IPsecセンター拠点に接続(add initiate)	UnifiedGate-B	
<input type="radio"/> IPsecクライアント拠点に接続(add respond)		
EtherIP(peer)	172.16.8.100(IPアドレス)	削除
EtherIP(peer)	UnifiedGate-A(ホスト名)	削除

設定保存

①トンネルモードを選択して、対置側UnifiedGateのIPアドレスもしくはホスト名を設定下さい。

●EtherIP (add peer)

「EtherIP」(RFC 3378)で接続する場合に選択して下さい。

●IPsecセンター拠点に接続(add initiate)

IPsecセンター拠点に接続する(設定しているUnifiedGateがIPsecクライアント拠点になる)場合に選択して下さい。

●IPsecクライアント拠点に接続(add respond)

IPsecクライアント拠点に接続する(設定しているUnifiedGateがIPsecセンター拠点になる)場合に選択して下さい。

●接続先IPアドレスもしくはホスト名

接続先のIPアドレスもしくはホスト名を入力して下さい。

注意 ホスト名で使用可能な文字列は、半角英数字、「-」(ハイフン)、「。」(ドット)のみです。これら以外の文字列は使用できません。

<<IPsecを使用する場合の注意点>>

IPsecを使用する場合は、「事前共有鍵設定」(18ページ)が必須です。

「事前共有鍵」は対置側UnifiedGateと一致するものを入力して下さい。

IPsecで接続を行う場合は、必ず「IPsecセンター拠点」と「IPsecクライアント拠点」の組み合わせで接続して下さい。

「IPsecセンター拠点」同士、「IPsecクライアント拠点」同士では接続できませんのでご注意ください。

②[追加]ボタンをクリックすると、入力したIPアドレス(またはホスト名)が登録されます。

[削除]ボタンをクリックすると、登録した内容がリストから削除されます。

③設定が完了しましたら、[設定保存]ボタンをクリックして下さい。

接続先設定		
追加しました。(未保存)		
<input type="radio"/> EtherIP(add peer)		
<input type="radio"/> IPsecセンター拠点に接続(add initiate)	接続先IPアドレスもしくはホスト名	追加
<input type="radio"/> IPsecクライアント拠点に接続(add respond)	<input type="text"/>	
EtherIP(peer)	172.16.8.100(IPアドレス)	削除
EtherIP(peer)	UnifiedGate-A(ホスト名)	削除
EtherIP(peer)	UnifiedGate-B(ホスト名)	削除
設定保存		

以上で接続先設定は完了です。

「11.再起動」(次ページ)へ進んで下さい。

11. 再起動

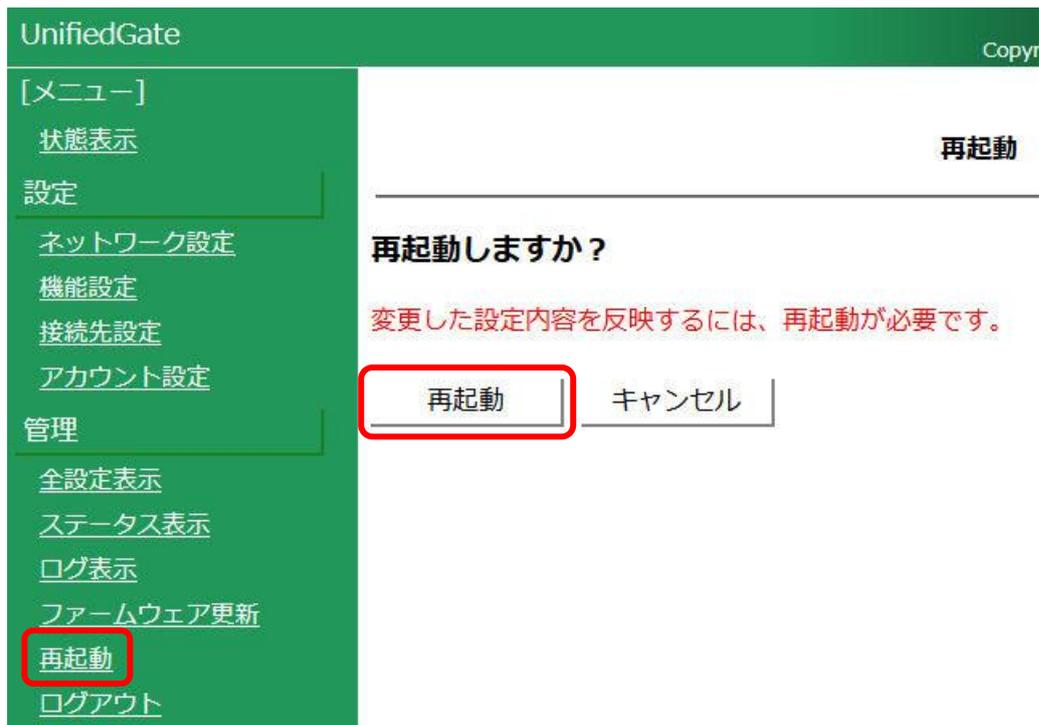
再起動方法を説明します。



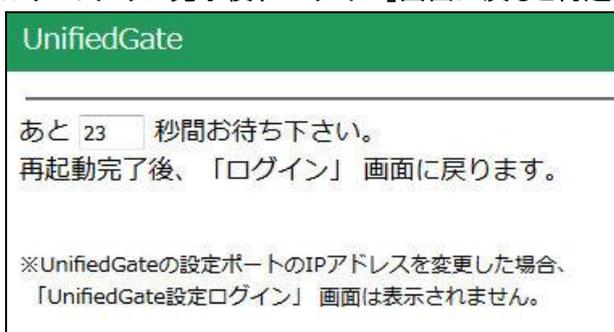
設定変更後は必ずUnifiedGateの再起動を行って下さい。
再起動を行わないと設定内容は動作に反映されません。

以下の手順でUnifiedGateの再起動を行って下さい。

- ①メニューから「再起動」をクリックして下さい。
- ②以下の画面が表示されますので[再起動]ボタンをクリックして下さい。



- ③以下のカウントダウン画面が表示されます。
カウントダウン完了後、「ログイン」画面に戻ると再起動完了です。



LANポートのIPアドレスを変更した場合は、「ページが表示されません」等のエラーメッセージが表示されます。
パソコンのTCP/IP設定を「変更したUnifiedGateのIPアドレス」に合わせて設定変更してから、WWWブラウザのアドレス欄に変更したIPアドレスを入力して、設定画面に再ログインして下さい。

以上でUnifiedGateの再起動は完了です。

12. アカウント設定(ログインパスワードの変更)

ログインパスワードの変更方法について説明します。



ログインパスワードは厳重に管理して下さい。
ログインパスワードが不明な場合、一切の設定ができなくなります。

メニューから「アカウント設定」をクリックして下さい。

「アカウント設定」画面が開きます。

UnifiedGate Copyright(c) 2019 Micro Research Ltd.

[メニュー]

状態表示

設定

ネットワーク設定

機能設定

接続先設定

アカウント設定

管理

全設定表示

ステータス表示

ログ表示

ファームウェア更新

再起動

ログアウト

アカウント設定

ログインパスワード

パスワード

パスワード再入力

設定保存

「パスワード」欄に新しいログインパスワードを入力して下さい。

「パスワード再入力」欄に同じパスワードを入力して下さい。



パスワードは半角英数字63文字以内で設定して下さい。
記号は使用しないで下さい。

[設定保存]ボタンをクリックして下さい。

以上でログインパスワードの変更は完了です。

設定を反映させるためには、再起動を行って下さい。

13. 管理

UnifiedGateの管理メニューについて説明します。

[全設定表示](#)

設定内容を表示します。

「13-1.全設定表示」(次項)を参照して下さい。

[ステータス表示](#)

動作状況を表示します。

「13-2.ステータス表示」(次ページ)を参照して下さい。

[ログ表示](#)

ログ情報を表示します。

「13-3.ログ表示」(25ページ)を参照して下さい。

[ファームウェア更新](#)

ファームウェアを更新します。

「13-4.ファームウェア更新」(27ページ)を参照して下さい。

13-1.全設定表示

設定内容の表示方法について説明します。

「全設定表示」をクリックして下さい。

「全設定表示」画面が表示されます。

UnifiedGate

[メニュー]

- 状態表示
- 設定
 - ネットワーク設定
 - 機能設定
 - 接続先設定
 - アカウント設定
- 管理
 - 全設定表示**
 - ステータス表示
 - ログ表示
 - ファームウェア更新
 - 再起動
 - ログアウト

再表示

syslog off
l2tp dns 8.8.8.8 8.8.4.4
echo interval 4
echo dead 4
timezone +9:00
no ntp server
ntp interval 43200
no server
server off
ddns expire 512
ddns see ip
nic swap off
passwd passwd
wan mtu 1500
wan4 dhcp
wan6 off

全設定表示

[再表示]ボタンを押すと画面が再読み込みされます。

13-2.ステータス表示

動作状況の表示方法について説明します。

「ステータス表示」をクリックして下さい。

「ステータス表示」画面が表示されます。

```
Rev.6.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
-- peer --
ip4 172.16.8.100 e:0 r:123507845 t:137230090 m:156475
peer4 UnifiedGate-A(***.***.***.***) e:0 r:278575 t:149499 m:156475
peer4 UnifiedGate-B(+++.+++.+++.++) e:0 r:197026 t:148617 m:156475
-- mac --
00:10:38:xx:xx:xx      5 lan r:506 t:0
00:10:38:xx:xx:xx      - WAN r:0 t:0
00:10:38:xx:xx:xx      - LAN r:0 t:0
-- dns --
-- nic --
wan 00:10:38:xx:xx:xx Ether MTU 1500 172.16.8.10/21 gw 172.16.8.254
lan 00:10:38:xx:xx:xx Ether MTU 1500 192.168.0.1/24
```

[再表示]ボタンを押すと画面が再読み込みされます。

- peer** : 対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)と、そのUnifiedGateとの送受信パケット数、マルチキャストパケット数等を表示します。
- e : エラーパケット数(Error)
 - r : 受信パケット数(Receive)
 - t : 送信パケット数(Transmit)
 - m : マルチキャストパケット数(Multicast)
- mac** : UnifiedGateが学習しているMACアドレステーブルを表示します。
- dns** : ダイナミックDNSサーバーが保持しているFQDN情報を表示します。
- nic** : WANポート及び、LANポートの情報を表示します。
- ip filter** : ファイアウォールの設定値と動作状況を表示します。
- arp** : UnifiedGateが学習しているARPテーブルを表示します。



動作状況は「ステータス表示」をクリックした時点までの情報が表示されます。リアルタイムでは表示されませんので、最新情報を表示したい場合は[再表示]ボタンをクリックして下さい。

13-3.ログ表示

ログ情報について説明します。

13-3-1.ログ情報の表示方法

ログの表示方法について説明します。

「ログ表示」をクリックして下さい。

「ログ表示」画面が表示されます。



UnifiedGate Copyright(c) 2019 Micro

[メニュー]
状態表示
設定
ネットワーク設定
機能設定
接続先設定
アカウント設定
管理
全設定表示
ステータス表示
ログ表示
ファームウェア更新
再起動
ログアウト

ログ表示

再表示

```
<06> 00:00:04.22 start: Rev.7.00 [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
<14> 00:00:04.24 PPPoE: started
<14> 00:00:05.27 PPPoE: PADI '' FA44AD6510AB sent
<14> 00:00:06.27 PPPoE: PADI '' FA44AD6510AB sent
<14> 00:00:08.27 PPPoE: PADI '' FA44AD6510AB sent
<14> 00:00:08.27 PPPoE: PADO from xxxxxx-xxxxxx aa:bb:cc:dd:ee:ff
<14> 00:00:08.28 PPPoE: PADR sent
<14> 00:00:08.28 PPPoE: PADS D925 discovered
<14> 00:00:08.28 PPPoE: LCP started
<14> 00:00:08.39 PPPoE: LCP opened
<14> 00:00:08.42 PPPoE: CHAP Challenge received. Response sent.
<14> 00:00:08.49 PPPoE: CHAP Success received
<14> 00:00:09.49 PPPoE: IPCP opened ***,***,***,***)->+++ ,+++ ,+++ ,+++
<06> 00:00:12.26 start: Rev.7.00 [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
<150> 00:00:13.35 isakmp: C5.FB:00.00 ***,***,***,111 aggressive initiate start
<150> 00:00:14.11 isakmp: C5.FB:09.77 ***,***,***,111 aggressive initiated. 288!
<150> 00:00:14.18 ipsec: in:EB1FE0DB out:AF3A7796 ***,***,***,111 generated. 11!
<134> 00:00:18.01 peer: initiate ***,***,***,111 connected.
```

[再表示]ボタンを押すと画面が再読み込みされます。

注意	ログ情報は「ログ表示」をクリックした時点までのログが表示されます。 リアルタイムでは表示されませんので、最新情報を表示したい場合は[再表示]ボタンをクリックして下さい。
	「ログ表示」画面で表示可能な行数は約1000行(64Kbyte)です。 ログは表示可能桁数を超えると古いログから消去されます。 表示可能桁数以上のログを保存する場合は、「CLI設定マニュアル」を参照してSYSLOGサーバーの設定を行い、SYSLOGソフトウェア等で受信して下さい。

13-3-2.ログ情報の表示例

●DHCP接続(IPアドレス自動取得)

```
<06> 00:00:04.31 start: Rev.6.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
<134> 00:00:05.27 192.168.0.1 dhcp: wan discover 0.0.0.0 7818DE5C 0
<134> 00:00:07.34 192.168.0.1 dhcp: wan discover 0.0.0.0 7818DE5C 2
<134> 00:00:12.97 192.168.0.1 dhcp: wan discover 0.0.0.0 7818DE5C 7
<134> 00:00:13.88 192.168.0.1 dhcp: wan offered 192.168.1.2/24 gw 192.168.1.1 from 192.168.1.1
<134> 00:00:13.89 192.168.0.1 dhcp: wan request 192.168.1.1
<134> 00:00:13.89 192.168.0.1 dhcp: wan bound 192.168.1.2/255.255.255.0 gw 192.168.1.1 from 192.168.1.1 lease 900 dns 192.168.1.1
<06> 00:00:16.37 192.168.0.1 start: Rev.6.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
<150> 00:00:25.36 192.168.0.1 dnsc: update UnifiedGate-B is 192.168.1.2. success from wan 192.168.1.100
<150> 00:00:25.43 192.168.0.1 dnsc: update UnifiedGate-B is 2408:210:28e9:6e00:210:38ff:fe22:8244. success from wan 192.168.1.100
<150> 00:00:34.08 192.168.0.1 dnsc: query UnifiedGate-A. 192.168.1.100 from 192.168.1.100
<150> 00:00:34.09 192.168.0.1 isakmp: 08.71:00.00 192.168.1.100 aggressive initiate start.
<150> 00:00:34.82 192.168.0.1 isakmp: 08.71:5E.CD 192.168.1.100 aggressive initiated. 28800s left.
<150> 00:00:34.88 192.168.0.1 ipsec: in:AC00F42A out:D67DC287 192.168.1.100 generated. 11520/14400s left.
<134> 00:00:37.81 192.168.0.1 peer: initiate UnifiedGate-A(192.168.1.100) connected.
```

- ① WANポートがIPアドレス/サブネットマスク「192.168.1.2/255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイ「192.168.1.1」を自動取得した。
- ② ダイナミックDNSサーバー「192.168.1.100」が、ホスト名「UnifiedGate-B」のIPアドレスを「192.168.1.2」に更新した。
- ③ IPsecセンター拠点「UnifiedGate-A」(IPアドレス: 192.168.1.100)と接続した。

●PPPoE接続(IPアドレス自動取得)

```
<06> 00:00:04.15 start: Rev.7.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
<14> 00:00:04.17 PPPoE: started
<14> 00:00:05.19 172.16.8.1 PPPoE: PADI " 39E4768D0844 sent
<14> 00:00:06.19 172.16.8.1 PPPoE: PADI " 39E4768D0844 sent
<14> 00:00:08.19 172.16.8.1 PPPoE: PADI " 39E4768D0844 sent
<14> 00:00:08.19 172.16.8.1 PPPoE: PADO from ***,***,***,** 11:11:11:aa:bb:cc
<14> 00:00:08.20 172.16.8.1 PPPoE: PADR sent
<14> 00:00:08.20 172.16.8.1 PPPoE: PADS D4C2 discovered
<14> 00:00:08.21 172.16.8.1 PPPoE: LCP started
<14> 00:00:08.31 172.16.8.1 PPPoE: LCP opened
<14> 00:00:08.32 172.16.8.1 PPPoE: CHAP Challenge received. Response sent.
<14> 00:00:08.38 172.16.8.1 PPPoE: CHAP Success received
<14> 00:00:09.39 172.16.8.1 PPPoE: IPCP opened 192.168.1.2->192.168.1.254
<06> 00:00:12.19 172.16.8.1 start: Rev.7.xx [UnifiedGate Twine(MR-UGT61)]
<150> 00:00:25.36 192.168.0.1 dnsc: update UnifiedGate-B is 192.168.1.2. success from wan 192.168.1.100
<150> 00:00:25.43 192.168.0.1 dnsc: update UnifiedGate-B is 2408:210:28e9:6e00:210:38ff:fe22:8244. success from wan 192.168.1.100
<150> 00:00:34.08 192.168.0.1 dnsc: query UnifiedGate-A. 192.168.1.100 from 192.168.1.100
<150> 00:00:34.09 192.168.0.1 isakmp: 08.71:00.00 192.168.1.100 aggressive initiate start.
<150> 00:00:34.82 192.168.0.1 isakmp: 08.71:5E.CD 192.168.1.100 aggressive initiated. 28800s left.
<150> 00:00:34.88 192.168.0.1 ipsec: in:AC00F42A out:D67DC287 192.168.1.100 generated. 11520/14400s left.
<134> 00:00:37.81 192.168.0.1 peer: initiate UnifiedGate-A(192.168.1.100) connected.
```

- ① PPPoE接続を開始した。
- ② PPPoE認証に成功した。
- ③ WANポートがIPアドレス「192.168.1.2」を自動取得した。
- ④ ダイナミックDNSサーバー「192.168.1.3」が、ホスト名「UnifiedGate-B」のIPアドレスを「192.168.1.2」に更新した。
- ⑤ IPsecセンター拠点「UnifiedGate-A」(IPアドレス: 192.168.1.100)と接続した。

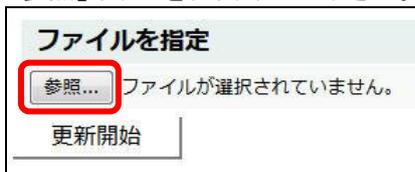
13-4.ファームウェア更新

ファームウェアの更新方法について説明します。

- ①メニューから「ファームウェア更新」をクリックして下さい。
「ファームウェア更新」画面が開きます。



- ②「参照」ボタンをクリックして下さい。



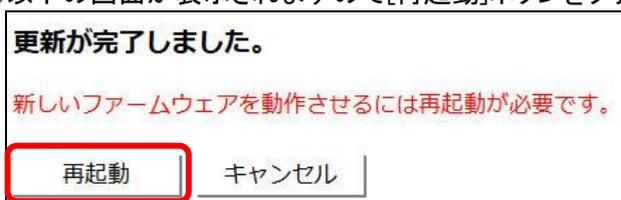
- ③ファームウェアファイルを選択して下さい。

- ④ファームウェアファイル名が表示されていることを確認して、[更新開始]ボタンをクリックして下さい。
ファームウェアの更新が開始されます。



ファームウェア更新中は、更新を行っているパソコンで他の操作を行わないで下さい。

- ⑤以下の画面が表示されますので[再起動]ボタンをクリックして下さい。



- ⑥カウントダウンが終了し、「UnifiedGate設定ログイン」画面に戻りましたら更新は完了です。

Q. LANポート側から設定画面にログインできない。**A. 以下を確認して下さい。**

- ◆LANポートのIPアドレスを工場出荷値(192.168.0.1)から変更していませんか？
パソコンのTCP/IP設定を「変更したUnifiedGateのIPアドレス」に合わせて設定変更してから、WWWブラウザのアドレス欄に変更したIPアドレスを入力して、設定画面にログインし直して下さい。
- ◆パソコンのTCP/IP設定は正しく行われていますか？
設定画面にログインするパソコンのIPアドレスは、LANポートのIPアドレスに合わせて設定して下さい。
「3. 設定を行うパソコンのTCP/IP設定」(3ページ)を参照して下さい。
- ◆LANポートを未使用(IPアドレスを設定しない)にしていませんか？
未使用にしている場合は、WANポートから設定を行って下さい。

Q. 他の拠点から設定画面にログインできない。**A. 以下を確認して下さい。**

- ◆「他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す」設定になっていませんか？
「他拠点からLANポートのIPアドレスを隠す」設定にした場合、他の拠点から設定画面へはアクセスできなくなります。
「8-1-1.LANポートにIPアドレスを設定する」(10ページ)を参照して下さい。
- ◆LANポートを未使用(IPアドレスを設定しない)にしていませんか？
未使用にしている場合は、WANポートから設定を行って下さい。

Q. WANポートから設定画面にログインできない。**A. 以下を確認して下さい。**

- ◆WANポートの回線接続は確立していますか？
WANポートのIPアドレスが不明、あるいはWANポートの回線接続が確立していない場合、WANポートからは設定できません。
- ◆工場出荷時、WANポートからの設定は許可されていません。
CLI設定コマンド「ui」でWANポートからの設定を許可する必要があります。
また、CLI設定コマンド「ipf」でWANポートへのアクセスを遮断していないかご確認下さい。
これらのコマンドについては、「CLI設定マニュアル」を参照して下さい。

Q. 対置側UnifiedGateと接続できない。(PPPoE接続の場合)

A. ログ情報を確認して下さい。(26ページ参照)

◆「CHAP: Failure received」と表示される場合

PPPoEの認証に失敗しています。

「8-2-1.PPPoE接続を行う(IPv4)」(13ページ)で行った認証情報の入力に誤りがないか確認して下さい。

◆「PPPoE: PADI sent」を繰り返している場合

WANポートの配線が正しくされているか確認して下さい。

配線に問題が無い場合は、PPPoE回線に問題が無いか回線事業者等に確認して下さい。

◆Peer接続に関するログが表示されない場合(EtherIP接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

◆「isakmp: ##.##.##.## :: give up.」と表示された場合(IPsec接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・IPsecの暗号種類が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバーサル)」(18ページ)を参照して下さい。

・IPsecの事前共有鍵が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバーサル)」(18ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

◆「dnsc: update ##### no response from ***.***.***.***」と表示された場合

※「#####」はホスト名、「***.***.***.***」はダイナミックDNSサーバーのIPアドレスです。

ダイナミックDNSサーバーが応答していません。

設定したダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを確認して下さい。

「9-1.DDNSサーバー機能/DDNSクライアント機能の設定」(17ページ)を参照して下さい。

Q. 対置側UnifiedGateと接続できない。(DHCP接続の場合)

A. ログ情報を確認して下さい。(26ページ参照)

◆「**DHCP wan: discover**」を繰り返している場合

DHCPサーバーが応答していません。

WANポートの配線が正しくされているか確認して下さい。

配線に問題が無い場合は、WAN回線に問題が無いか回線事業者等に確認して下さい。

◆Peer接続に関するログが表示されない場合 (EtherIP接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

◆「**isakmp: ##.##.##.## :: give up.**」と表示された場合 (IPsec接続時)

・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。

対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。

・IPsecの暗号種類が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバース)」(18ページ)を参照して下さい。

・IPsecの事前共有鍵が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。

「9-2.IPsecトンネル機能(NATトラバース)」(18ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。

「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。

◆「**dnsc: update ##### no response from ***.***.***.*****」と表示された場合

※「#####」はホスト名、「***.***.***.***」はダイナミックDNSサーバーのIPアドレスです。

ダイナミックDNSサーバーが応答していません。

設定したダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを確認して下さい。

「9-1.DDNSサーバー機能/DDNSクライアント機能の設定」(17ページ)を参照して下さい。

Q. 対置側UnifiedGateと接続できない。(IPアドレス指定接続の場合)

A. ログ情報を確認して下さい。(25ページ参照)

- ◆WANポートの配線が正しくされているか確認して下さい。
- ◆IPアドレス設定、ゲートウェイ設定が正しく行われているか確認して下さい。
「8-2-3. IPv4アドレスを指定する場合 (IPv4)」(14ページ)を参照して下さい。
- ◆Peer接続に関するログが表示されない場合 (EtherIP接続時)
 - ・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。
対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。
 - ・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。
「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。
 - ・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。
「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。
- ◆「**isakmp: ###.###.###.### :: give up.**」と表示された場合 (IPsec接続時)
 - ・対置側UnifiedGateが正しく動作しているか確認して下さい。
対置側UnifiedGateの電源が入っているか？回線が接続されているか？等確認して下さい。
 - ・IPsecの暗号種類が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。
「9-2.IPsecトンネル機能 (NATトラバース)」(18ページ)を参照して下さい。
 - ・IPsecの事前共有鍵が対置側UnifiedGateと一致しているか確認して下さい。
「9-2.IPsecトンネル機能 (NATトラバース)」(18ページ)を参照して下さい。
 - ・対置側UnifiedGateのIPアドレス(ホスト名)が正しく設定されているか確認して下さい。
「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。
 - ・対置側UnifiedGateとトンネルモードが一致しているか確認して下さい。
「10.接続先設定」(19ページ)を参照して下さい。
- ◆「**dnsc: update ##### no response from ***.***.***.*****」と表示された場合
 - ※「#####」はホスト名、「***.***.***.***」はダイナミックDNSサーバーのIPアドレスです。
ダイナミックDNSサーバーが応答していません。
設定したダイナミックDNSサーバーのIPアドレスを確認して下さい。
「9-1.DDNSサーバー機能/DDNSクライアント機能の設定」(17ページ)を参照して下さい。

Q. ステータス4ランプが点灯しない。

A. ステータス4ランプは、登録した対置側UnifiedGateが全て接続されないと点灯状態になりません。
複数の対置側UnifiedGateを登録した場合は、いずれかの対置側UnifiedGateと接続できていません。
「Q.対置側UnifiedGateと接続できない。」を参照して、対策を行って下さい。

Q. ログインパスワードを忘れた。

A. 初期化作業が必要となります。

「全ての設定を工場出荷値に戻したい」(次々項)を参照して下さい。

Q. LANポートとWANポートのIPアドレスが不明で設定画面が開けない。

A. 初期化作業が必要となります。

「全ての設定を工場出荷値に戻したい」(次項)を参照して下さい。

Q. 全ての設定を工場出荷値に戻したい。

A. 以下の手順で初期化作業を行って下さい。

電源を落とした(電源アダプターを抜いた)状態で、本体背面のRESETボタンを細い棒等を使って押しなが
ら、電源を入れて(電源アダプターを接続して)下さい。

電源投入後、RESETボタンは前面のステータス「2」が点滅するまで押し続けて下さい。

ステータス「2」が点滅したらRESETボタンを離して下さい。

株式会社マイクロリサーチ

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-10

UnifiedGateの技術的サポートや修理については、
お買い求めの販売代理店へご相談下さい。